



《将来に向けた取組方針》

1. 表面改質技術を通じて、生物多様性・生態系を含む自然資本への負の影響を低減し、正の影響を増やす取組みを推進します
2. サプライチェーン全体で気候変動対策、省資源化、再資源化の推進、環境負荷物質の削減をこれまで以上に配慮します

〈具体的な取組事例〉

日本パーカライジンググループでは、社会貢献活動方針を掲げ、地域の皆さまと共に様々な活動を実施しています。

地域のニーズに合わせた多様な活動を展開するとともに、行政ならびに地域住民の皆さまと手を取り合い、地域社会との共存・連携に努めています。

【社会貢献活動方針】

1. 国内外の各事業拠点と、それぞれの所在する地域社会との共生を図り、地域社会の持続的発展に貢献します
2. 地域社会と連携し、環境保全活動など地域に根ざした活動を行います
3. 従業員一人ひとりが地域のメンバーの一員として自ら社会活動に参画できるよう、企業風土の醸成をはかります

【代表的な活動事例】

- ①タイパーカライジングでは2022年にバンパー海沿いにて999本のマングローブ植林を行い、これにより、約10t/年のCO₂の吸収が期待されます。マングローブ林はCO₂削減に貢献するだけでなく、自然災害の抑制にも繋がっています。
- ②薬品製造拠点である関西工場では2024年7月1日「びわ湖の日」の環境美化活動として、琵琶湖周辺の清掃活動に参加し、琵琶湖の豊かな生物多様性の育みに貢献しています。

〈今後の課題〉

TNFDへの賛同に向けてフレームワークに従って生物多様性に対応していきます。

〈社会に向けたメッセージ〉

ステークホルダーのみなさまと共に環境に配慮した脱炭素社会の実現を目指します。

マングローブ植林作業風景

